

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	木次小 5.0 ～学校の課題をプログラミングで解決しよう～
学年	小学校第5学年
目標	学校の課題に対する解決策を考え、プログラミングを活用した解決を図る。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	MESH
環境	児童3人に1台の MESH セット、iPad を使用
都道府県	島根県
実施校	雲南市立木次小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>自分たちの学校が抱える課題を解決する学習として設定。以下の流れで学習を進めた。</p> <ol style="list-style-type: none">①木次小学校の課題を出す。②動画「すぐその未来」を見て、Society5.0 について知る。③MESH を使って解決できそうな課題を選び、グループで解決策を検討する。④プログラムした MESH を設置して、自分たちが考えた通りに作動するかテストをする。⑤自分たちが設置した MESH が有効に働いたかを検証し、単元のふりかえりをする。 <p>・子どもたちはスリッパをそろえることを呼びかけるプログラムや、廊下を歩くことを呼びかけるプログラムを作成した。呼びかける内容については、対象とする学年等を考慮し、相手意識をもってプログラムを作成していた。</p> <p>・また、MESH の設置に関しては、感知した後の時間やセンサーの設置位置などについて試行錯誤をしながら修正を重ね、適切なプログラム、設置位置を考えていた。</p> <p>・単元の振り返りでは、プログラミングを活用することで、自分たちの力でも課題解決に寄与することができること、プログラミングで自分たちが思った通りにプログラムすることは思っていたより難しいことなどに気付く様子が見られた。</p>
成果と課題	<p>子どもたちが試行錯誤をしながら、自分たちの意図した通りに MESH が動くように試行錯誤をして、考えを深めることができた。効果検証の方法には検討の余地がある。</p>

